



三木市記者発表資料 (令和6年2月13日発表)			
担当部課名	担当長	担当係	電話番号
総合政策部 秘書広報課	課長 正心均 (内線 2410)	広報広聴係	0794-89-2304

タイトル	
<p>印刷以外全て職員の手作り 「広報みき」が県広報コンクールで3年連続入賞</p>	
本件のポイント	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度から市民インタビューなど「人」に焦点を当てた情報を充実</li> <li>・令和2年度から印刷以外全て職員の手作りで製作</li> <li>・令和3年度に23年ぶりの入賞から3年連続での入賞</li> </ul>	
説明文	
<p>第71回兵庫県広報コンクール 広報紙部門（市の部）において、「広報みき 2023年9月号」が入賞しました。</p> <p>今後も広報みきを通して、市への愛着を感じてもらえるよう、さらなる充実を図っていきます。</p>	
<p><b>1 受賞内容</b></p>	<p>広報紙部門（市の部） 佳作</p>
<p><b>2 受賞作品</b></p>	<p>広報みき 2023年9月号</p>
<p><b>3 主な記事の掲載意図</b></p>	<p>今回取り上げた特集テーマの「障がい」や「子育て支援」は、制度の仕組みや申請方法を役所の側から伝えるのではなく、市民の立場から、それぞれの「声」として届け、読者の中で「自分はこの立場に近いな」「これは自分もできるな」と一歩踏み出すきっかけになればとの思いで取材・制作しました。</p>
<p><b>4 審査講評 (全体講評から抜粋)</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の部で、何度も読み返したのは洲本市、三木市、加西市、川西市の作品。いずれも特集の切り口が目をついた。</li> <li>・多様性を扱った特集は、聴覚障がい者支援（三木市）、ジェンダーギャップの解消（豊岡市）や性的マイノリティの受容（高砂市）を求める内容のほか、外国人増加で町が活性化というレポート（佐用町）もあり、今日的な社会の変容とわが町の実践を発信する意欲作揃いだった。</li> </ul>
<p><b>5 ホームページ</b></p> <p><a href="https://www.city.miki.lg.jp/site/kohomiki/">https://www.city.miki.lg.jp/site/kohomiki/</a></p> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>本案件は次のSDGs目標に関連します。</b></p>  </div>

